

# 自閉症に既存薬効果か

## 東大など 症状似たネズミ改善

東京大の水口雅教授らは自閉症に似た症状のあるネズミに、海外で使われている免疫抑制剤を投与したところ症状が改善する効果があることを確認した。成分の似た国内

東京大の水口雅教授らの既存薬を使えば自閉症の治療につながる可能性がある。成果は19日に英科学誌「ネイチャー・コミュニケーションズ」(電子版)に掲載された。

東京大医学総合研究所、順天堂大との共同研究。成果は19日に英科学誌「ネイチャー・コミュニケーションズ」(電子版)に掲載された。

自閉症の代表的な症状である他人との相互交流

障害と同様、同じケースに知らないネズミが入ると関わるのを避けるネズミで観察。免疫抑制剤を与えると別のネズミを追いかける通常の行動パターンをとるようになり、投与をやめると元に戻ったという。

国内では、この免疫抑制剤と成分が似た抗腫瘍薬が小児を中心とした難

病「結節性硬化症」の治療に11月から使われている。結節性硬化症患者の6割は自閉症を併発している。研究チームはまず、この抗腫瘍薬を使っている患者で自閉症の症状が改善するか、全国の医師からデータを集め治療効果を調べ